

目 次

はじめに

目 次

第1編 問題行動等における前兆行動（サイン）の把握と対応

第1章 前兆行動（サイン）を把握することの重要性

- 1 児童生徒の問題行動等の状況 1
- 2 生徒指導上の課題と背景等 2
- 3 前兆行動（サイン）を把握する意義 3
- 4 前兆行動（サイン）の把握に関する留意点等 4
- 5 前兆行動（サイン）を受け止めた基本的な指導の在り方 6
- 6 前兆行動（サイン）のいろいろ～事例に基づいたチェックリスト 8

第2章 実践事例

- 1 小学校～無気力な児童が不登校に陥った事例 10
- 2 小学校～意地悪をされた児童が引き起こしたいじめの事例 12
- 3 中学校～校内暴力を起こしやすい生徒の事例 14
- 4 中学校～友人の悪口、無視などによるいじめの事例 16
- 5 高等学校～交際していた男子他校生と家出した事例 18
- 6 高等学校～人間関係が原因で拒食症になり自殺した事例 20

第3章 少年事件における前兆行動（サイン）

- 1 調査対象事件 22
- 2 事件にかかわった少年の属性や背景等 23
- 3 前兆行動（サイン）の把握と対応 24

第2編 児童虐待防止に向けた学校における適切な対応

- 1 児童虐待とは 26
- 2 児童虐待の状況等 26
- 3 児童虐待に対する学校の役割 27
- 4 児童虐待の早期発見に向けたチェックリスト等 28

第3編 資料編

- 1 児童生徒の問題行動等の実態 30
- 2 少年事件の手続き等 34
- 3 児童虐待の防止等に関する法律 36
- 4 最近の生徒指導関連通知等、並びに参考文献 38
- 5 関係機関一覧 39